



衆議院議員
長島昭久

お友達になってください!



公式LINE

トランプ関税に立ち向かい、 日本経済を立て直す!

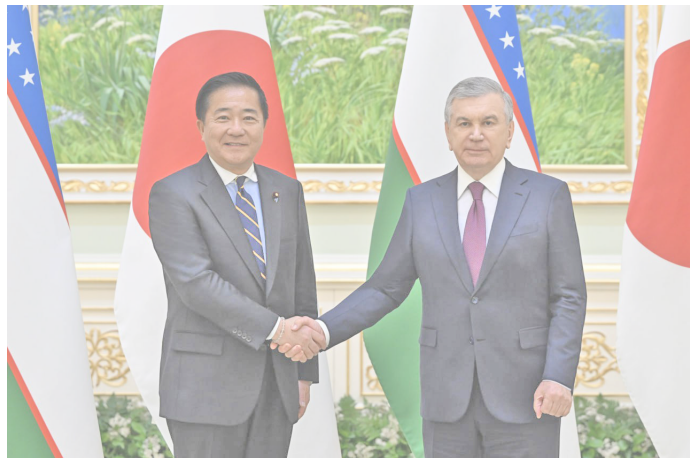
「歴史は繰り返さないが韻を踏む。」

アメリカの著名な作家マーク・トウェインの言葉とされています。

欧州ではウクライナ戦争が続き、アジアでも台湾海峡や朝鮮半島に不穏な空気が立ち込め、米中貿易戦争が激しさを増しています。

世界経済が再びブロック化する様相は、百年前の1930年代の世界情勢と重なります。

私は、国家安全保障担当の内閣総理大臣補佐官として、これらの地政学的リスクに的確に対応できる外交・安全保障体制の構築に全力を挙げて参ります。



ウズベキスタンのミルジョーエフ大統領を表敬
政治や経済、開発協力、文化などの分野に関して意見交換

また、理不尽な関税政策には毅然として対応し、国際的な自由貿易秩序を守って参ります。

トランプ政権の「関税攻勢」 から国民の生活を守る

海外情勢は、国内経済にも大きな影響を及ぼしています。

長く続いたデフレという闇の中をようやく抜け出しかけていたところに、トランプ政権による「関税攻勢」が襲い掛かり、物価高騰に喘ぐ国民生活をさらに圧迫しています。

年明けのころには、「成長と分配の好循環」のサイクルがようやく回り始め、企業の賃上げから個人消費の回復、そして物価目標の達成・・・そんな光が見え始めた矢先に、関税をめぐる激しい米中対立が自動車をはじめとする日本の輸出産業、ひいては私たちの生活に暗い影を落としています。

消費者物価は2%を大きく超え、インフレが現実のものとなりつつあります。

一方で、デフレ・マインドから抜けきれない企業の内部留保は、なお過剰です。

日本経済は、いわば「インフレ下のデフレ圧力」という二重の重みに苦しんでいます。

さらに、少子高齢化という日本経済が抱える構造問題も横たわり、働き手が毎年数十万人規模で減り続ける中、生産性の劇的向上がなければ、日本の未来は危ういものとなってしまおうでしょう。

(裏面につづく)

長島昭久プロフィール

自由民主党・衆議院議員(8期目)。東京30区(府中市・多摩市・稲城市)選挙区支部長。

内閣総理大臣補佐官(国家安全保障担当)、児童の養護と未来を考える議員連盟会長、日韓議員連盟幹事長、衆議院 財務金融委員会委員。

日本スケート連盟会長、日本スポーツ協会参与、東京都銃剣道連盟会長、東京都ゴルフ連盟相談役、東京都軟式野球連盟会長。

昭和37(1962)年2月17日生まれ。寅年。慶應義塾大学大学院修了。米国ジョーンズ・ホプキンス大学で修士号取得。

これまでに、防衛大臣政務官、防衛副大臣を歴任。趣味は大相撲・野球観戦、読書、水彩画。妻と娘2人。